

国際ホテル旅館

INTERNATIONAL HOTEL MANAGEMENT 2006. 9/20 第148号

ホテル・旅館経営を応援する情報紙

発行所: 国際ホテル旅館
〒104-0061 東京都中央区銀座 8-11-1
銀座大和ビル6階 (株) フライタル産業新聞社内
発行人: 北島恵子 年間購読料10,500円(消費税込み)
TEL 03(5537)8661 FAX 03(5537)8533
http://www.thekame.com

新規購読の申込み方法

電話又はFAXで◆部数◆住所◆会社名◆御担当名◆電話番号を当社まで申し込んで下さい。最新刊の新聞と購読料請求書、契約内容を書いた簡単な書類をお送りします。

広告出稿に関して

当社まで御連絡下さい。本紙媒体資料広告料金表をお送りします。

第30回記念大会を開催 150人を超える関係者が集合

トピックス

HSN会

9月7日、横浜ベイシエラトンホテル&タワーズ(横浜市西区)にて、HSN会(ホテル・セールスネットワーク)の第30回記念大会が、150人を超えるホテルマンや関係者が参加して行われた。

HSN会とは、横浜市の若手ホテルマンが3ヶ月に1度、勉強会や講演会のほか、互いに親睦を深めてネットワークを築く目的で結成された団体。その第30回目が、中田宏横浜市長の記念講演の他、多くの来賓、関係者が参加して盛大に行われた。



▲30回を記念して作られたHSN会のロゴ

当日は、ホテル見学会が行われた後、記念講演として、第20回大会に引き続き中田宏横浜市長がこれからの横浜の観光や文化事業などについて熱く語った。

市長は、当初予定されていた講演時間を大幅に超えて持論を展開。「横浜にとってホテルは重要な一大産業」と語る市長は、開港130年を迎える平成21年に向けて、より観光・文化事業に力を入れてゆくことを強調した。

羽田空港の拡張に伴う空港の国際化に合わせて、海外からも集客アップを目指すという語り、会場からは大きな拍手が起きた。

また、今回HSN会では、NPO(特定非営利活動法人)日本ファミリーハウスへ、アメニティグッズの寄付を行った。

日本ファミリーハウスは、小児がんなど、病に苦しむ子どもの看護で病院へ通う保護者のための宿泊施設を運営するNPO法人。長期間の通院を必要とする保護者のため、1泊1000円程度で施設を提供しているのだという。

パーティーでは、会員から募ったホテルの様々なアメニティの目録を、副理事長の川瀬量平氏へ手渡した。

挨拶した川瀬氏は「是非、今後の活動に、有効に活用していきたい」と挨拶した。

同会では、今後も、様々なネットワークを活用して、こうした社会貢献を続けていきたいという。

▶講演する中田市長



▲大いに盛り上がった会場

中田市長が記念講演 会のロゴを新たに発表

今後は地域の活動にも積極的に貢献



会長から
ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル販売担当部長 石原 健氏

この30回大会も、150人を超える方にご参加いただき、盛大に会を催すことができ、ホッとしています。前回は、普段お付き合いができて、ホッとします。浜で活躍する異業種の方にも多く参加して頂きました。業界を超えた、こうした

を はじめ、ホテル業界のみならず、異業種の方も来賓としてご参加いただき、大変感謝いたします。

今回は、初試みとして、NPO法人「ファミリーハウス」へホテルのアメニティグッズを寄付するとい

う、ボランティア活動も行っていきます。今後は、こうした地域に根付いた活動も、積極的に進めていければと考えています。

提供しているのだという。パーティーでは、会員から募ったホテルの様々なアメニティの目録を、副理事長の川瀬量平氏へ手渡した。

挨拶した川瀬氏は「是非、今後の活動に、有効に活用していきたい」と挨拶した。

同会では、今後も、様々なネットワークを活用して、こうした社会貢献を続けていきたいという。